

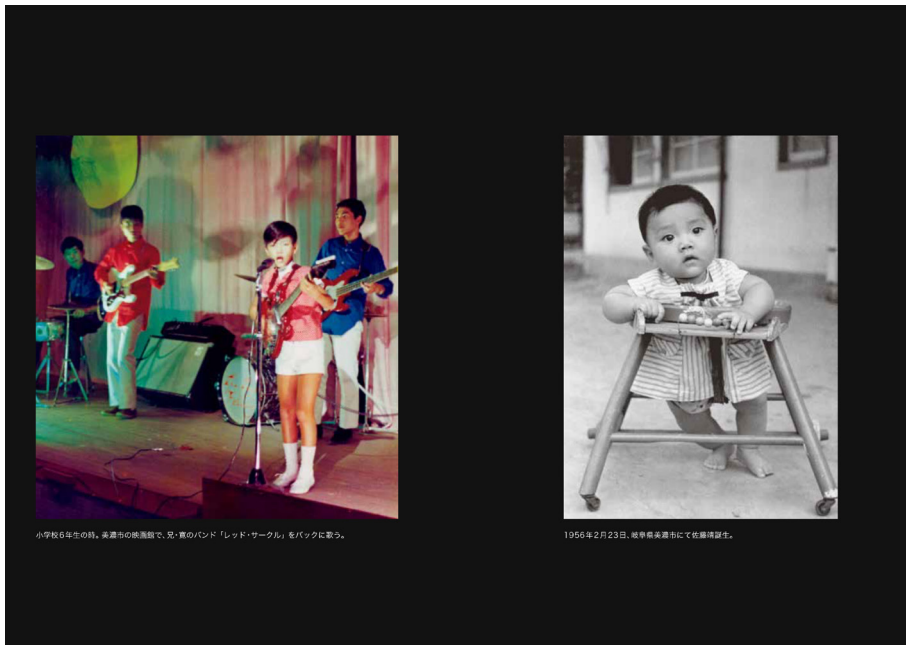
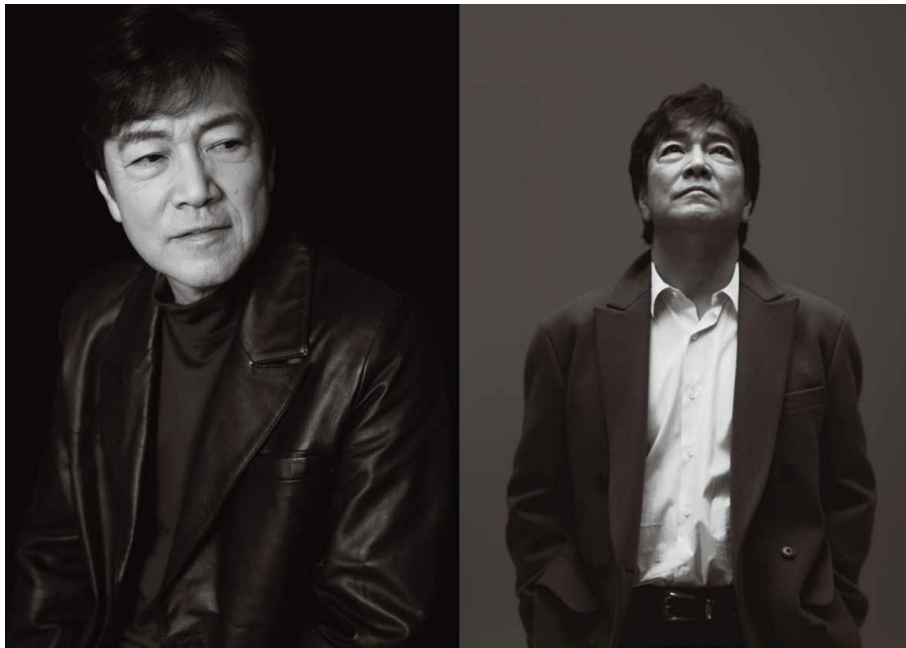
各 位

2025 年 2 月 10 日
株式会社リットーミュージック

歌手・野口五郎の初となる決定的自伝
『野口五郎自伝 僕は何者』が発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『野口五郎自伝 僕は何者』を、2025 年 2 月 21 日に発売します。



1971年のデビュー以来、55年にもわたり第一線で活躍を続ける野口五郎。

郷ひろみ、西城秀樹と並んで“新御三家”と呼ばれ、トップ・アイドルとして活躍しながら、時にはベースやドラム、ギターなどマルチに楽器を演奏し、時にはレコーディング・エンジニアを務め、時には俳優として映画やドラマ、舞台に立ち、そして近年は配信アプリを開発する技術者・研究者としても活動するなど、多彩な顔を持つことで知られます。

本書は、そんな野口五郎がこれまでの人生を赤裸々に語る、初となる自伝。たったひとつの決定的一冊がここに誕生します。

CONTENTS

032 ままがき

037 第一章 幼少期

幼少期は病気のデパートだった。
一番古い記憶は、人前で歌ったこと。
ウクレレを手に取った保育園児の僕。
親父が買ってくれた鉄線ギターの際。
普通の子のようで、やけに離れたいところがあった。

055 第二章 糸口を、掴む

テレビで出会った「リンゴ通信」の衝撃。
我が家にエレキギターがやってきた！
寺内タケシさんの輝くペンケースを完コピ。
ギターを弾きながら歌うのは友達。
『日神ちびっこのどきどき』に出陣。そして優勝。
ちびっこの自慢足らしむとて有名に。
手製の楽器バンドを作る。
『紅のステージ』。
東京へ行く日々、『友情的花束』。
両親が僕に託した夢。
さらば東京へ。

087 第二章 デビュー前の挫折

即席の子は足が速い!?
妻四郎の助け、失った未来と過去。
母の鳴く鐘、カレンダールの赤丸。
初めてもらったラブレター。
スターマイク、バンド、演歌の二本立て。
二月で締めなスターマイクのこと。
笑しすぎたバンド活動。
振り返らなかつた父親の背中。

129 第三章 爆発

はじめてのレコーディング。
丸川キヤンペーンで酒を飲みたい記憶。
顧客に酒をぶっかけられる日々。
大人の世界を覗き込んだ十五歳の僕。
雑誌『マリファナ』で後援者メルヒ。
椎名もくみちやんと僕の関係。
見送る母との二人暮らし。
音楽家先生との出会いと「若いリンゴ」。
ミドルエイジの女の子が僕を見つけてくれた。
この人が僕に似ていなかった。
サンダルでオーディションに来た南沙織ちゃん。
両親野郎先生との出会い。
『背負い日曜日』。
僕の気持ちに代弁された『背負い日曜日』。

113 第四章 デビューの光と影

『朝多かれ』で遂に歌手デビュー。
水城哲也が野口五郎に似て。

169 第六章 初の一位、『新御一家』

矢島賢さんとの出会いとオレの最初の海外録音！『君が美しく』。
[Comment Area] [Top]

235 第七章 アメリカへ、新たな想い

東海岸修先生との出会い。
『いいんだよ、やっついでいいよ、やっついで』。
僕の宝物、アメリカでの四枚のアルバム。
CORON IN LOS ANGELES、USA、北回帰編。
憧れのミッドウインター、幸福の時間。
ギター少年としてのときめき、ロスの楽器店。
僕はいつぞアイドルなんだろう。
CORON NEW YORK、異邦人。
NYの楽器プレイヤーと対峙する僕ら。
福岡県、原光先生が曲を書けなかった？
『A-EXPRESS ロサンゼルス編』。

『五郎ちゃんファンは文学少女的』
自分のバンドで歌いたい！
筒美京平先生の強い信頼関係。
再びロンドンでアルバム制作。
五郎ちゃんの好きに歌って『甘い生活』
忘れられない、京平先生のステージ。
別れてはいるが心はそこない。
エレキ・ギターの秘密「私鉄路線」。
私鉄路線が五十年目でわかる。
多岐すぎた十八歳。
コメントに挑戦！『アタラシキ大放言』
一月間の入院生活。
初めての大きな音楽賞。
初めての映画出演、これも幸運だ！『両立』
シェイクのキャンピング、カーに乗って。
再び家族「監督と」『茶話会』。
大竹しのぶちゃんと田中裕さんのプロ意識。
都ひるみと西城秀樹のデビュー。
度評を抜いた勇闘のパフォーマンス。

281 GORO'S GEAR COLLECTION

『スタート』 GORO IN LOS ANGELES PV
五十年近く経って、若い人が聴いている!?
自宅にスタジオを作ってしまった！
前々日に聞かれたフリスト・コンサート。
ストロボを導入、ショー・アップを語る。
浅草国際劇場の職員記録を創立。
海外ミュージシャン、全員集合！

289 第八卷 失望、イップス

前東京半生との行き違い、入院してわかった、これからのこと。「もうひとついってくれ、僕は好きなことをやるから」「誰ドラ出演と」「恋の街」事務所からの独立、レコード会社移籍初めてのは「ロミオとジュリエット」イップスと呼吸を換えたまま、病気の症状をそのまま出して演じた「武蔵中のパルティイ」イップスの高鳴、そしてある日の出家事

319 第九卷 芸能界の仲間たちと

アイトと仲間のお見さんの存在、山口百恵ちゃんも珠島まゆりさんのこと、それは覚悟だったのか、「トップ屋コネクション」日本、相談御用、芸能界シブと写実週刊誌の登場、ビートルとさんごのこと、西條秀樹の思い出、なんと言えない秀樹の「間」、俺の性を完全に見抜いていた秀樹、お前には敵わないんだよ

339 第十卷 豊かさを、追い求めて

デジタル・サウンドの音響と後の思い、レコードからCDへの移行、少しでも豊かなデジタル・サウンドを豊かさとは、中東洋のすらの卵？「愛がメロウ」神心が通じ合う、妻との出会い、結婚、結婚式はロケ島で、二人の子にも思われる、息子は本中出産、兄貴のからげ仕事に参加、もつとろんな人に会わなきゃいけない音楽配信サイト「音コレ」の開設、音コレから生まれた新コンテンツ「ニョーカバ」プロデューサー、野口五郎、「テイクアウトライブ」の始まり、「僕」これで特許あるから

405 あながき

立平先生最後の書き下ろし「両会タイムマシン」筆にも言わず、仕事も止めにガンと戦う、岩崎宏美ちゃんとの共演、立平先生との永遠の別れ、コロナ禍に入ってから、僕の人生はすべて戦い、その連続、五十年間記念日の撮影は始まりの場所です、時代流れのRock'n Roll music、すべて、歌を歌うためにあつたんだ

第一章 幼少期

幼少期は病気のデパートだった

1956年二月二十三日、僕の誕生日です。本名は佐藤靖、七歳年上の寛という兄貴がいます。生まれたのは岐阜県的美濃市、美濃はその二年前（1954年）の四月、周囲の町や村をかき集めてようやく「一市」になったばかりでした。母は家の一階にある美容室をひとりり営んでいて、父は公務員という、まあ普通の家庭でした。両親は若い頃にプロ・デビューの話を断って地元でセミプロの歌手をやっていたというので、母親は民謡が得意でした。町内の人に頼まれて、盆踊りの機で歌っていたのを見たことがあります。家には両親と兄貴以外にも、父方のおじちゃんとおばちゃん、父の姉にあたるおじさん一家の三世帯が住んでいました。大家族ですよね、それだけ大きな家なかなと思うかもしれませんが、全然そんなことはない。あんな狭い家に、よくこれだけの人が暮らしていたなと思うくらいでした。



目元の前に。

家にいたおじちゃんやんは再婚で来た人で、実の祖父である佐藤谷三郎さんは親父が二歳の時に亡くなっています。おばあちゃんも南無さんという名前、日本で最初の看護士さんだったと聞いています。この二人は地元では有名で、憧れの的。今で言う、イケメンと美女のカップルが結



■書誌情報

書名：野口五郎自伝 僕は何者

著者：野口五郎

定価：3,300 円（本体 3,000 円 + 税 10%）

仕様：A5 判 / 408 ページ

ISBN：9784845642106

発売：2025 年 2 月 21 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124312003/>

CONTENTS

- 第一章 幼少期
- 第二章 糸口を、掴む
- 第三章 デビュー前の挫折
- 第四章 デビューの光と影
- 第五章 爆発
- 第六章 初の一位、「新御三家」
- 第七章 アメリカへ、新たな想い
- GORO'S GEAR COLLECTION
- 第八章 失望、イップス
- 第九章 芸能界の仲間たちと
- 第十章 豊かさを、追い求めて

PROFILE

野口五郎（のぐち・ごろう）

1956年、岐阜県美濃市に生まれる。67年、11歳の時にテレビ番組『ちびっこのど自慢』に出場、エレキ・ギターを弾きながら「今夜は踊ろう」（荒木一郎）を披露し優勝。71年に「博多みれん」で演歌歌手としてデビュー、同年の2ndシングル「青いリンゴ」が大ヒット。翌年、当時の最年少（16歳）で『NHK紅白歌合戦』に初出場を果たし、その後「甘い生活」（74年）、「私鉄沿線」（75年）などのヒット曲を連発。いつしか郷ひろみと西城秀樹と並んで"新御三家"と呼ばれるようになる。アイドル的な人気を博しつつ、並行して本格サウンドによる海外レコーディングの作品も精力的に制作。歌手のみならずギタリストとしても知られ、近年の作品ではドラムやベースを含めた全パートを演奏するなどマルチなプレイヤーとして活躍している。配信サービス"DMV"の開発などで複数の特許を取得しており、情報技術者の一面も持つ。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp